



図書館サポーターズだより

明日に吹く風

2008年11月第9号

秋も深まり、来月にはよいよクリスマス！第9号ではクリスマスにぴったりの本を紹介します。

*新着 DVD

- 邦画 チーム・バチスタの栄光/
ぼくたちと駐在さんの700日戦争/
OH! Mikey FEVER/ Sweet Rain 死神の精度/
折り梅
- 洋画 サンタクロース3 クリスマス大決戦/
ジャンパー/
エリザベス ゴールデン・エイジ/
ノーカントリー

*図書館サポーター推薦 ~クリスマス特集~

『**サンタさんがぼくの家に来なかった7つの理由**』 チェ・インソン作
この本は、題名を見ても分かる通り、サンタさんが来られなかった理由を語った本です。ちょっぴり間抜けでかわいいサンタさんがほのぼのとしたイラストと共に語られています。癒されること間違いなしです。クリスマス前に、この本でサンタさんに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。(S・K)

『**サンタクロースっているんでしょうか?**』 中村妙子訳
「サンタクロースって、ほんとうに、いるんでしょうか?」8歳の少女の質問に、アメリカのある新聞社がこたえました。1897年の新聞に実際に載った社説を訳したものです。シンプルで愛情豊かな答えに心があたたかくなりました。(S・I)

*第三回 IC先生と図書館 ~野口 良哉先生~

スリリングでエキサイティングな三時間

私は現在、土浦市の荒川沖から電車で通っていますので、毎日、往復約三時間(なんと1日の8分の1)を電車内で過ごすこととなります。最初はその時間を、何もせずにボーっと考え事をしたり、不足しがちな睡眠を補うことに充てていました。

今も時にそうすることがありますが、それだけではもったいないと思い立ち、現在は貴重な“読書の時間”にしています。とくに、普段、読もうと思ってもなかなか読めない本、以前購入して山積みになっていた本、いわゆる“積読(つんどく)本”などを片っ端から読破しています。

読書を通して、本当に多くの出会いや発見があります。だから、そんな“読書の時間”は、今の私にとって、一日の中で最も待ち遠しい、スリリングでエキサイティングな時間なのです。そして、図書館はそんな時間の影の立役者です！